


**事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表**


		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		制度が定める基準以上のスペースを確保しているが、利用者が多い日は広さや室数に不足を感じる時もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			制度が定める人員基準の配置と専門職の加配を実施し、更にプラス2名程を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		施設内及び施設の出入りに関して大きな段差はなく、現在の利用者が利用するにあたって利用困難な面はない。 トイレの改修は将来的に必要である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		週一の職員会議及び日々のミーティングで職員で検討している。朝会もできる範囲で行うようにしている。パート職員の参画が課題として残る。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回のペースで実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上での公表を実施
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在外部評価は実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			高知県が開催するスキルアップ研修に積極的に参加している。受講内容を系統性を考えていきたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			開業当初から標準化されたアセスメントシートを活用し個別支援計画に繋げている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントシートを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			翌月のイベントスケジュールを職員で策定し利用者に配布している。 プログラムは随時見直しを図っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同上
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			児童ひとり一人の当日の過ごし方や注意点を共有している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートや利用者面談によって適切な放課後等デイサービス計画の立案に努めている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		適時のミーティングを実施し児童ごとの担当者や支援方法を共有しているが、充分とは言えない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了時は記録や翌日の準備があり十分な時間は取れないが、気が付いた注意点等について報告し合っている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		ケア記録を必ず記録保管しているが、日々の支援や活動のインプットにはなっておらず、今後活用方法の検討が必要。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			相談支援専門員や関係機関と連携してモニタリングの実施や計画書の見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理者が参加し可能な場合は支援員も参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校との情報共有や連絡調整、下校時間の確認を積極的に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在医療的ケアの必要な利用者の受け入れがない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		事例が少ない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在事例がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		相談支援専門員の主導による他施設との連携には参加しているが事例が少ない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域住民の交流事業「まっことネット細木」には時々参加している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	実施していない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用前の見学や体験及び、契約時の重要事項説明等で実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			臨床心理士による相談窓口の開設や、施設での日々の利用者の相談受付には積極的に取り組んでいる。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	実施していないが要望があれば検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時の重要事項説明書による苦情の受付窓口の説明実施やトラブルの発生時には迅速に保護者との連絡を取っている。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		毎月「イベントスケジュール」を発行しているが、それ以外の会報などの取り組みがない。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の保管庫を設置し施錠をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードによる視覚支援や、電話での意思伝達の難しい保護者は、対面での会話などの配慮をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		制度で定めている各種マニュアルは整備しているが、周知が不足している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	防災対策マニュアルの見直しは実施しているが、訓練活動は不十分だ。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			高知県が開催するスキルアップ研修などに積極的に参加し理解を深めている。独自の事業所研修も考えていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		突発的な事故防止や危険防止以外での身体束縛は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要性が認められる利用者については保護者を通じて指示書を入手している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書の起票に積極的に取り組み、職員会議等で今後の方向性を共有している。